

図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。
 【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時
 ※時間外の返却はセンター入口横のポストをご利用ください。



『きみといつまでも泣き虫おとうちゃんの子育て500日』
 あおむろひろゆき 宝島社
 ◆ツイッターで大人気子育てマンガの書籍化。溢れんばかりの愛娘への愛情が直球で伝わってくる。子育てしたことのない方にも、新米のパパにもおすすめ。



『校閲ガール』
 宮木あや子 KADOKAWA
 ◆憧れのファッション誌編集者を夢見て出版社に就職した主人公。しかし配属されたのは地味な校閲部。根性と気合いで最強のワーキングガールになっていく、読むとスッキリ元気になる物語。



『君について行こう』
 上・下 向井万起男 / 講談社
 ◆元心臓外科医で宇宙飛行士になった向井千秋さん、それをささえる病理医の夫。非常にユニークで魅力的なお二人のエピソードが満載。夢に向かって邁進する妻を支える夫の気持ちとは。



図書コーナーをご利用ください

●男女共同参画に関する書籍のほか、話題を呼んだ一般書籍や絵本も多く取り揃えております。ぜひお立ち寄りください！

ひとりで悩まないで…
 気軽に相談を…



女性専用電話相談です。
 相談は無料で秘密は厳守します。

とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
13:00～16:00	○	○	○	○	-	-

・年末年始(12/29～1/3)、祝日、月曜日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

【相談内容】家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど…

センターのご案内



●お車でお越しの際は、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料)

- 開館時間：火～金 9:00～21:00
土・日・祝 9:00～17:00
- 休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
 電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214
 メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp

●研修室の貸出しを行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



●大研修室(半日:3,600円) ●中研修室(半日:1,640円)

●編●集●後●記●

社会現象を巻き起こしたラブ・コメディ、「逃げるは恥だが役に立つ」。今年3月に発売されたブルーレイは歴代ドラマの中で最高の売り上げとなるほか、シナリオブックにあっては発売前の段階で重版決定だそうです。実際には家事代行のための雇用主と従業員という間柄ながら、世間の理解が得られないからと、夫婦を装い同居生活を始めた二人。いつしか互いに惹かれ合い、恋人同士に。いよいよプロポーズの時、「今まで支払っていた給与分を家計や貯蓄に回せば合理的です。」と提案する彼に、「結婚すれば私をタダで使えるから合理的?それは愛情の搾取です。」と反論するヒロイン。家事代行サービスを通して、主婦のアンパイドワークを浮き彫りにする見事なシナリオでした。ほかに、文系大学院卒者の就職難、派遣切り、LGBTなどを盛り込んだ社会派ドラマでした。「逃げ恥」から見た男女共同参画なんてテーマで話を聞いてみたいです。(た)

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2017年6月 No. 46



ぐんま男女共同参画センター
 〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
 TEL: 027-224-2211
 FAX: 027-224-2214
 メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

企画 インタビューコーナー 第21回
 あさくらせんぶ 朝倉染布株式会社
 代表取締役社長 朝倉 剛太郎さん
 おおつか ひろみ 総務部長 大塚 博美さんに聞く

■えるぼし認定3つ星企業

朝倉染布株式会社は、撥水加工や吸水速乾加工などで高い技術力を誇る染色整理業の企業です。

今年1月には、女性活躍推進法に基づく取組みの実施により、県内で初めて、厚生労働大臣から「えるぼし※」最高位の3つ星企業に認定されました。※次頁下段参照

女性が活躍できる職場として優良との評価を得た朝倉染布の取組みを紹介します。

■働きやすい職場環境整備

中小企業ならではの家庭的で働きやすい環境を目指し、職場の環境整備を進めてきました。例えば「育児介護休業規定」の改訂。これにより2003年以降、対象となる女性の全員が育児休業を1年以上取得。また、取得した全員が職場復帰を果たしています。今まで培ってきたキャリアを活かせるよう、同じ部署に復帰させる配慮もしています。

環境整備が始まる前は、結婚・出産により退職する女性がほとんどでしたが、今では出産・育児による女性の離職率0!貴重な人材を手放すことなく、今では女性の勤続年数が男性のそれを上回る結果となりました。

■生産現場に女性を配置

加工部門である検査課や、技術部門の調色・品質試験グループには女性が多いのですが、生産現場となる染色課は明治の創業

以来、男性だけの職場でした。昼夜交替制勤務であることや、男女の体力差の問題があるの、女性配置できないと考えていたからです。しかし、全女性職員と個別面談を行い話を聞いたところ、意外にも生産現場への異動について前向きな回答でした。実際、染色課を希望してくれた女性がいたため、重い生地を運ぶための電動車を導入するなどの職場改善を実施。今後

も本人の希望を聞きながら全職種への女性

の登用を検討していきます。

■朝倉社長から一言

引き続き女性社員定着率アップのための施策を講ずるほか、男性の「出産・育児参加」促進について働き掛けを行います。

育児や介護など社員を取り巻く社会環境・家庭環境について両立できるように、職場環境を整えることが自分の仕事です。

男性も女性も全ての社員が働きやすい職場を目指します。

朝倉染布株式会社(桐生市浜松町)
 社員数102名(男性63名 女性39名)
 勤続年数(男性18.7年 女性19.1年)
 2017.4データ
 ●女性リーダー職以上6名

■大森小夏さん(加工部門 インクジェット計画課) 女性の染色課勤務第1号。その後事務部門に異動となったが、4月に育児復帰する際に、体を動かすことのできる生産部門が自分には合っていると希望。事務部門より終業時間が早い事も理由だった。現在は生地の搬入管理等を行う。「この会社には時間単位で取れる休暇があって子育てにはとても便利。」



■田村萌々香さん(加工部門 染色課) 染色課勤務2年目。希望して配属された職場だが最初は濡れて重みの増した布をワゴンに乗せて運ぶのが大変だった。今では「コツです」と笑って言える。「高校で勉強した染色、織物、デザインを活かすことのできる今の職場で頑張りたい。」



■船津享子さん(加工部門 検査課リーダー) 勤務歴30年のベテラン社員。昨年、検査課で初の女性リーダーとなった。検査課は社員の大半が女性。社員にとっても女性リーダーは頼もしい存在だ。船津リーダーは、20年前に育児休業取得第1号の経歴を持つ。「検査は経験とスキルの蓄積が重要。今後は後輩の育成に力を入れたい。」



■木村千春さん(業務部門 営業業務課) 営業職(総合)女性登用第1号。4月入社1年生。今は自社の製品をPRするため勉強の毎日。入社を決め手は東京での説明会。「やりたい事(仕事)は東京、子育ては田舎と決めていた。女性が働きやすい環境が整備されているこの会社なら、どちらもあきらめることなく自分が生きていける、と思った。」



インタビューコーナーでは、「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介します。